

対象者

- 新規サービス・プロダクトの企画や開発プロジェクトを担当する方
- 既存サービス・プロダクトの拡大や推進の役割を担う方

BEFORE

サービス・プロダクトに活かすための、顧客の潜在ニーズの掴み方、“本当に”響くものの作り方が分からない...

デザイン思考が重要だと聞かすが、アイデア・コンセプトの精度を高めるための手法や検証の仕方が分からない...



AFTER

- 具体的なペルソナを描き、インタビューの設計～実施(＝研修期間中の宿題)を体験することで、顧客・ユーザーの理解を深められるようになる！
- インサイトの導き出し方を習得することで、顧客にとっての価値を発見・定義し、製品・サービスの方針(コンセプト)を策定できるようになる！
- コンセプトの検証方法を学ぶことで、ビジネスの骨格をデザインすることができるようになる！

～実際にご受講された方々の生の声～

インタビュー結果からテーマ設定をする際、ただ内容をまとめるのではなくプラスアルファの要素を付け加えることでリアルなテーマが設定できることを学びました。

議論を進める中で得たインスピレーションを取り入れ、ゴールを想像しつつも、プロトタイプの見方を変えるようなフレームを実体験として得ることができました。

開催人数※	最低：10名～最大：25名
申込期限	研修実施初日 1ヶ月前
実施期間	約1か月間(計3回)90分/回 ※Day1のみオリエンテーション実施のため 105分
講 師	木浦幹雄 氏
事前課題	あり ※該当講師の Udemy講座の視聴が Day1までの宿題としてあります。
費用(税別)	10～20名：80,000円 / 名 21～25名：75,000円 / 名
受講環境	・PCと安定したネット回線 ※タブレットでのご受講や、VPNを接続した状態での受講は推奨しておりません。 ・ZOOMの利用(左記ツール利用が難しい場合別途、ご相談ください。) ・Google Chrome / Google Slideへのアクセス(必須)
お申し込み	営業担当までご連絡ください。
運営	講師、運営スタッフの一部(Teaching Assistant等)は業務委託契約を締結しています。

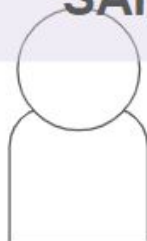
※開催人数におけるの『最低』の人数を最低催行人数とします。

※2024年3月時点 内容が一部変更になる可能性もございます。

Day1～宿題:ペルソナの設定と デザイン思考に基づいたユーザーリサーチの実践

名前：鈴木太郎
年齢：32歳
職業：建設会社の事務
家族構成：妻・子供1人
居住地：津田沼
勤務地：丸の内
年収：650万円
趣味：メルカリ・筋トレ・読書

SAMPLE



抱えている課題

子供の将来のために自然環境を守っていく事が重要だと考えている。しかし環境に優しい生活を送りたいと思っても、環境に配慮した製品は高価だったり、紙ストローのように不便だったりして、なかなか自分自身の生活に取り入れるのが難しいとも感じている。

ニーズ

より積極的にエコ製品を選択するために、環境に優しい製品がもっと手頃な価格で提供されたり、紙ストローのように使用時に不便を感じる製品ではなく、日常生活において便利に使える環境に優しい製品を求めている。

どんなシーンでサービスを使う？

スーパーで買い物をする時に、どの製品がどの程度環境に優しいのかを簡単に把握することができる。

インタビューの設計をしてみよう

SAMPLE

トピック

具体的な質問

トピックの例

- 〇〇に関連する経験について聞く
- 〇〇についてどう考えているか聞く
- 〇〇に関する課題やニーズを聞く
- サービスの受容性を確認する

1トピックにつき15分程度を目安にして考えてみましょう。質問は多すぎても少なすぎてもいけません。

1回のインタビューでトピックを3つ程度用意しておく、時間を管理しやすいです。

所要時間

アイスブレイク

本日はお時間を頂きありがとうございます。私は〇〇と申します。今日は〇〇に関して、お話をお伺いしたく思っています。

お時間としては1時間程度を予定しております。お忙しいところ大変恐縮ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

5分

本講座は、一つの共通テーマで研修内ワークを進めていくことを前提としたカリキュラム設計となっております。

以下のテーマ例をもとに、弊社担当とご相談の上、テーマを選択・決定ください。

新規サービス提案系

- ・ヘルスケアサービスの新しいアイデアを考える
- ・家事を支援する新しいサービスを考える
- ・環境に優しい生活を実現するためのサービスを考える

行政系

- ・住民向けの新規サービスを考える
- ・地域の図書館の新しいサービスを考える
- ・新しい教育と学習サービス

業務改善系

- ・自社の業務改善アイデアを考える
- ・自社の特定商材の売上アップのための施策を考える
- ・人材採用や社内研修、社員パフォーマンス向上のための施策を考える

その他

※オリジナルテーマでご設定や
弊社・講師にお任せ等も可能です。